

磐田市教育大綱

「子育て、教育なら磐田」
 新時代の教育コミュニティづくり・人づくりに向けて

磐田市 教育大綱

いのちを培う
 誇りを培う
 礼節を培う
 敬愛を培う
 感謝を培う
 こころざしを培う

「子育て、教育なら磐田」と誰もが実感できるまちづくりを下記のとおり目指します。

かけがえのない命を精一杯生き、ふるさとの先人たちが築きあげた磐田の大地に根を張った人づくりの精神と伝統文化を未来へ継承し、生涯にわたり社会を生き抜く力を育成します。

さらに、学校・地域・家庭の連携・融合による学府を核とした新時代の教育コミュニティを形成し、次代の社会をつくる学びの場を創造します。

市民誰もが進むべき道を示した“「磐田の教育」道しるべ”と、子どもたちの成長を育む“磐田市こども憲章”を基に、本市の未来をひらく礎となる基本理念を教育大綱として定めます。

平成27年8月制定

「磐田の教育」道しるべと

磐田市子ども憲章を基に

総合教育会議で

磐田市教育大綱を制定

磐田市では、昨年8月に「磐田市教育大綱」を制定しました。磐田市教育大綱は、昨年4月にスタートした新教育委員会制度に基づき、地域住民の意向のさらなる反映と市の教育施策の推進を目的に制定され、「いのちを培う」「誇りを培う」「礼節を培う」「敬愛を培う」「感謝を培う」「こころざしを培う」の6つの

磐田市教育大綱

ができるまで

「磐田の教育」道しるべ

「磐田の教育」道しるべは、教育委員会を中心に、学校・園へのアンケート結果を踏まえつつ、選考委員会

「子育て、教育なら磐田」と誰もが実感できるまちづくりを目指している磐田で「磐田市教育大綱」ができるまでの経緯や磐田市教育大綱の特徴、大綱に込めた思いなどを紹介します。

磐田市教育大綱
磐田市・磐田市教育委員会
平成27年8月制定



「磐田の教育」道しるべ
磐田市教育委員会
平成26年3月制定



磐田市子ども憲章
磐田市(磐田市民)
平成27年4月制定

において深い議論を重ね、平成26年3月に制定されました。市民の誰もが進むべき道を示すものとして、生き方・礼儀・思いやり・忍耐・大切にすべきことなどを12の言葉で表現しています。磐田市教育委員会の教育目標でもある「ふるさとを愛し、未来をひらく、心豊かな磐田市民」につながる大切な言葉が盛り込まれています。

「わたの大地を踏みしめ、ともに手をつなぎ、明日を楽しみにたくましく生きよう」この磐田市子ども憲章は、小・中

磐田市子ども憲章

学生、高校生を含む多くの市民の皆さんの意見を踏まえ、平成27年4月に制定されました。子どもたちの健やかな成長を育むために、子どもたち自身だけでなく、大人も含め「オール磐田」で取り組むべき教育の指針となっています。子ども憲章には、12の「未来へつながるみんなの心得(行動指針)」があります。市内の小・中学校、高校から178人が参加した「子ども憲章子ども会議」で、グループワークを行いました。そこでは、小学生から高校生まで、同じ机で一緒になつて真剣に考え、議論し、1700人に上る市民投票を基に行動指針を決定しました。



▲小学生から高校生まで真剣に議論

- ・すべての地方公共団体に「総合教育会議」を設置
- ・市長と教育委員会が協議・調整し、市長が「教育大綱」を策定

総合教育会議



- 市長が招集、会議は原則公開
- 会議には、市長と教育委員会（教育長・教育委員）が出席
- 協議・調整事項は

- ①教育大綱の策定
 - ②教育の条件整備など重要な施策
 - ③児童・生徒等の生命・身体の保護など緊急時の対応方針
- ✓ 市長が教育行政に果たす責任や役割が明確になり、公の場で教育施策について議論することが可能に
 - ✓ 市長と教育委員会が協議・調整することにより、両者が教育政策の方向性を共有し、一致して執行にあたることが可能に

総合教育会議

「総合教育会議」では、市長と教育委員会が協議・調整を行います。教育大綱を策定することで、市の教育政策に関する方向性を明確にしています。磐田市においても「総合教育会議」で議論を重ね、「磐田の教育」道しるべと「磐田子ども憲章」を基に、6つの言葉に思いを込めて、**磐田市教育大綱**を制定しました。



▲市長と教育委員会が協議・調整



はるこ
青島 美子
教育委員

「心身共に健全な子どもを育てる」という目標に向かい、皆で議論し、言葉を削ぎ落として最後に残ったエッセンスが、磐田市教育大綱です。それは自分の夢に向かってではなく「こころざし」に向かって生きる人を育てる、つまり、世のため人のために尽くすことを最高の幸せだと思える人を育てることです。そこに人間としての価値があるのだと思います。



杉本 憲司
教育委員

「^{ともぞだ}共育ち」という言葉は、植物の苗を育てる時、種を一面にまき、苗を密集させて育てる事の大切さを説いたものです。まばらにまかれた種より、他の種と競い合った方が丈夫に育ちます。これは人の世界のあるべき姿、知恵でもあります。このような不朽の教えを道しるべとして、子どもたちの持つ限りない可能性の中に、人間としてのバランスが必要とされていると思います。

教育委員からのメッセージ



田中 さゆり
教育委員

「教育の道は、家庭の教えで芽を出し、学校の教えで花が咲き、世間の教えで実が成る」この言葉は明治31年、保護者宛てに配布された「家庭心得」の一説です。子どもを取り巻く環境が大きく変わっても、日本人が大切にしてきた精神を培い、どんな困難も乗り越えられる強く心優しい人に成長してください。



ふみとし
秋元 富敏
教育委員

子どもたちには、家庭や学校、地域社会の中でいろいろなことを学び経験し、その中で自ら考え責任を持って行動できる自立する力を付けてほしいと思います。そして、将来、自らが進むべき道を見つけたならば、その世界で大いに挑戦し羽ばたいてください。

磐田市教育大綱 と

「磐田の教育」道しるべ・磐田市子ども憲章 との関連

磐田市教育大綱	道しるべ ②子ども憲章 (行動指針)
いのちを培う	<ul style="list-style-type: none"> ① かけがえのない命を精一杯生きること ② 宇宙・自然への畏敬の念をもつこと ③ かけがえのない命を大切にしよう
誇りを培う	<ul style="list-style-type: none"> ① 自分のよさを誇りとし自信をもって行動すること ② 郷土愛をもって伝統文化の継承を行うこと ③ 互いを受け入れ、認め合おう ④ 積極的に地域行事に参加しよう
礼節を培う	<ul style="list-style-type: none"> ① 美しい立ち居振る舞いと温かな言葉づかいをすること ② 真善美に照らし正しい判断をすること ③ 人を敬い、礼儀・礼節を意識して行動しよう ④ 携帯・スマホの使い方を考えよう
敬愛を培う	<ul style="list-style-type: none"> ① 敬愛の心をもち家族を大切にすること ② 年長者を敬い年少者を慈しむこと ③ ご飯のときはテレビを消そう
感謝を培う	<ul style="list-style-type: none"> ① 感謝の気持ちは「ありがとう」と素直に伝えること ② 寛大な心をもって人を愛し許すこと ③ あいさつをしよう、あいさつを返そう ④ 「ありがとう」を伝えよう ⑤ 家族に感謝し、助け合おう
こころざしを培う	<ul style="list-style-type: none"> ① 大志を抱き困難を乗り越えること ② 勤労・勤勉を喜びとすること ③ 夢をもち、自分の可能性を信じよう ④ 挑戦する意欲と勇気をもとう ⑤ 本を読もう、読み聞かそう

磐田市教育大綱の特徴
 磐田市教育大綱の特徴は、教育行政の根本となる方針を「6つの理念的な言葉」に集約していることです。サブタイトルには「子育て、教育なら磐田」を入れ、市民の皆さんに浸透しやすい表現としました。磐田市では、中学校区(学府)で取り組んでいる小中一貫教育のさらなる推進を目指し、学府一体校整備構想を策定しました。また、コミュニティ・スクールなど学校と地域が協働し、教育環境の

充実を図るため、新時代の新たな学校づくりを進めています。そこで「新時代の教育コミュニティづくり・人づくりに向けて」という言葉も入れました。
 教育大綱の取り組みとして、福田小学校では、磐田市教育大綱の「礼節を培う」とそれに関連する「美しい立ち居振る舞いと温かな言葉づかいをすること」を実行するため、あいさつ運動推進看板を設置しました。



コミュニティ・スクール事業

豊田北部小学校のコミュニティスクール事業▶
 地域で働く人たちの授業を実施



▲福田小学校のメインロードの名前を児童から募集
 あいさつ運動推進看板を児童が設置

磐田市教育大綱 が目指すもの

磐田市教育大綱の宣言文の冒頭には「子育て、教育なら磐田」と誰もが実感できるまちづくりを目指します」と書かれています。これは、子育て中の親だけでなく、子どもたちにいつも温かいまなざしを向ける地域の人たち、子どもたちに真正面から向き合い、優しく、時には厳しく接する教師など、子どもたちに関わる全ての人たちの願いです。

この願いは、今日頑張つてすぐに結果は出ないかもしれませんが、5年後、10年後の未来の子どもたちのために、大人も子どもも今日一日を大切に生きていることで、その実現に近づいていきます。

「子育て、教育なら磐田」を目指すために、羅針盤となるのが「磐田市教育大綱」です。皆さんの家庭でもぜひ磐田市教育大綱とその基礎となった「磐田の教育」道しるべ、磐田市子ども憲章をじっくり読んでみてください。そして、できることから実行してみてください。そこには次代を担う子どもたちの成長を支えるエッセンスが詰まっています。困難にぶつかったとき、これらの言葉を思い出し、自ら未来を切り拓ける、優しく、たくましい子どもたちを育てていきましょう。

※1 学府一体校整備構想
 少子化など社会状況の変化に対応するため、①小中一貫教育のさらなる推進、②望ましい教育環境の実現、③施設の老朽化対応を柱とした「新時代の新たな学校づくり」に向けたロードマップ

※2 コミュニティ・スクール(学校運営協議会
 保護者や地域住民などが、学校の課題解決のために学校運営や健全育成などに参画し、子どもたちの成長を支えていく仕組み